

令和2年度

ジェネリック医薬品に関する
アンケート調査結果



長崎県福祉保健部薬務行政室

県民

ジェネリック医薬品に関する県民アンケート調査結果

○調査方法

・「ながさきWEB県政アンケート」による調査

○調査時期

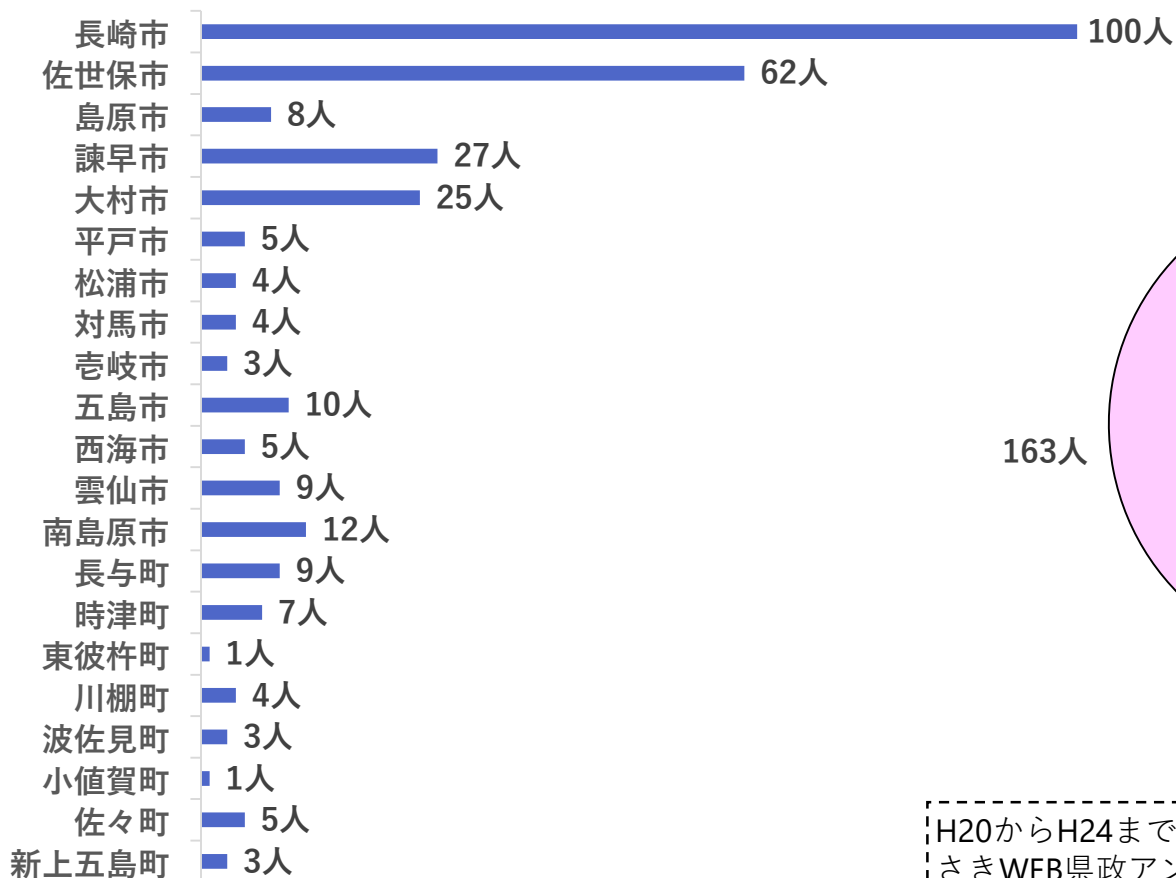
・令和2年6月17日から令和2年6月30日まで

○調査対象

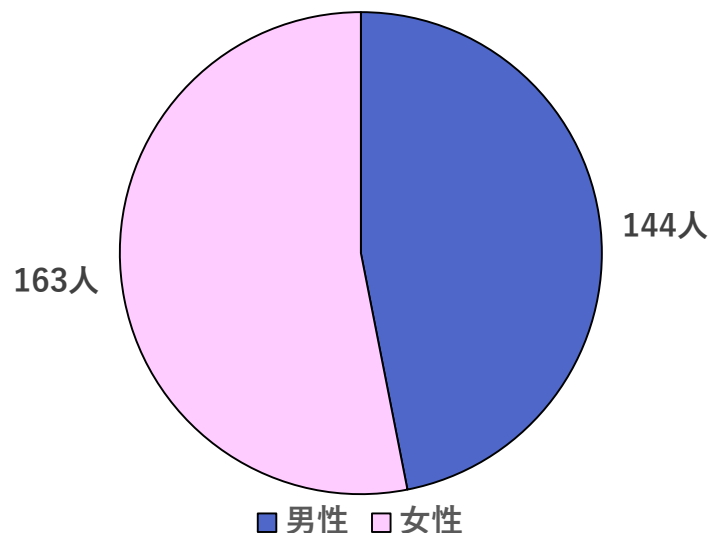
・「ながさきWEB県政アンケート」全モニター

○対象者数、回答者数及び回収率

・対象者数：338人、回答者数：307人、回答率：90.8%



回答者の性別

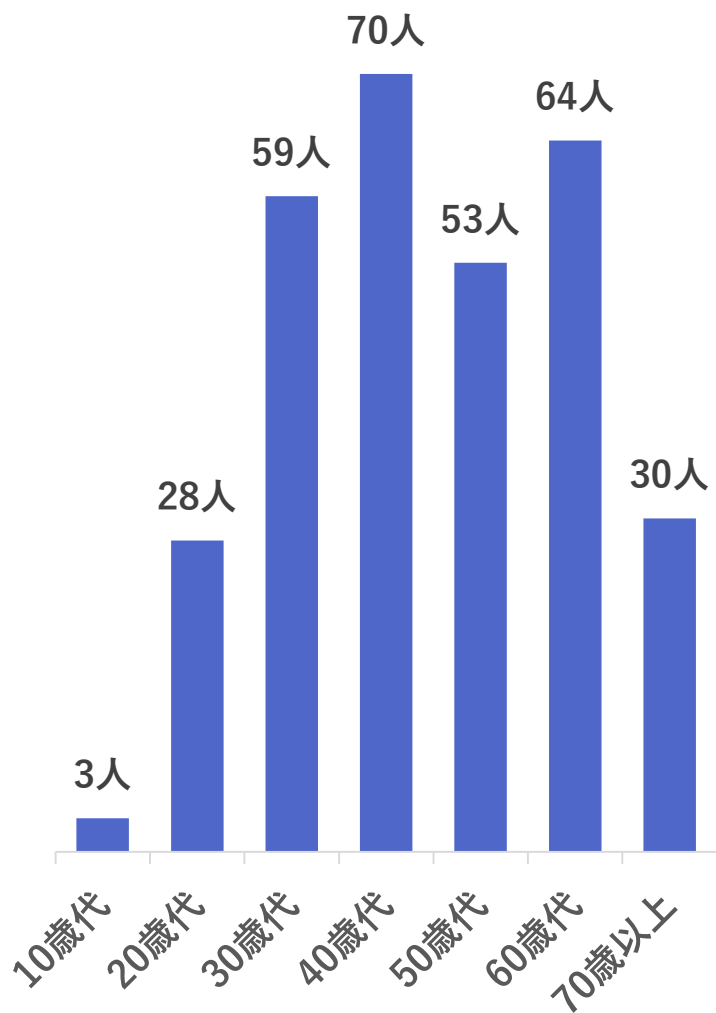


H20からH24までは、郵送による調査。H26からは「ながさきWEB県政アンケート」によるウェブ調査を実施。

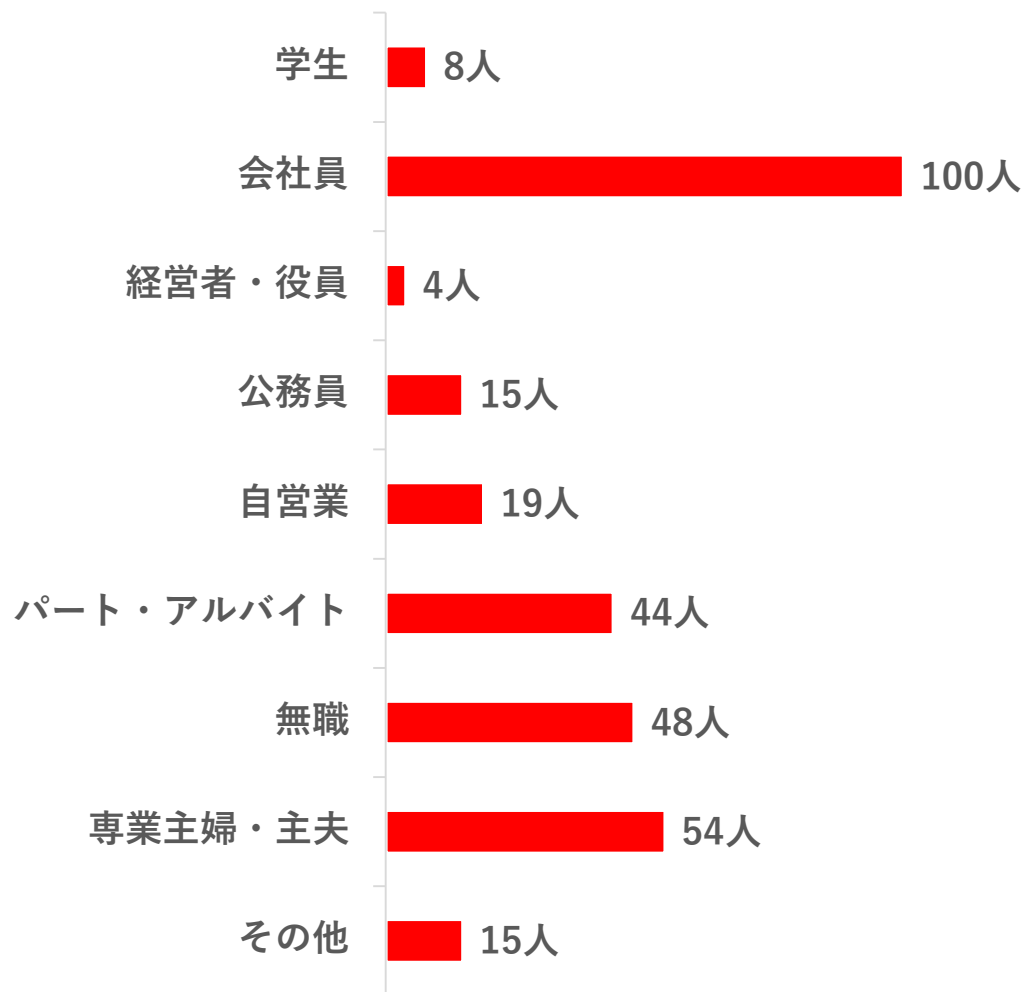
ジェネリック医薬品に関する県民アンケート調査結果

県民

回答者の年齢層



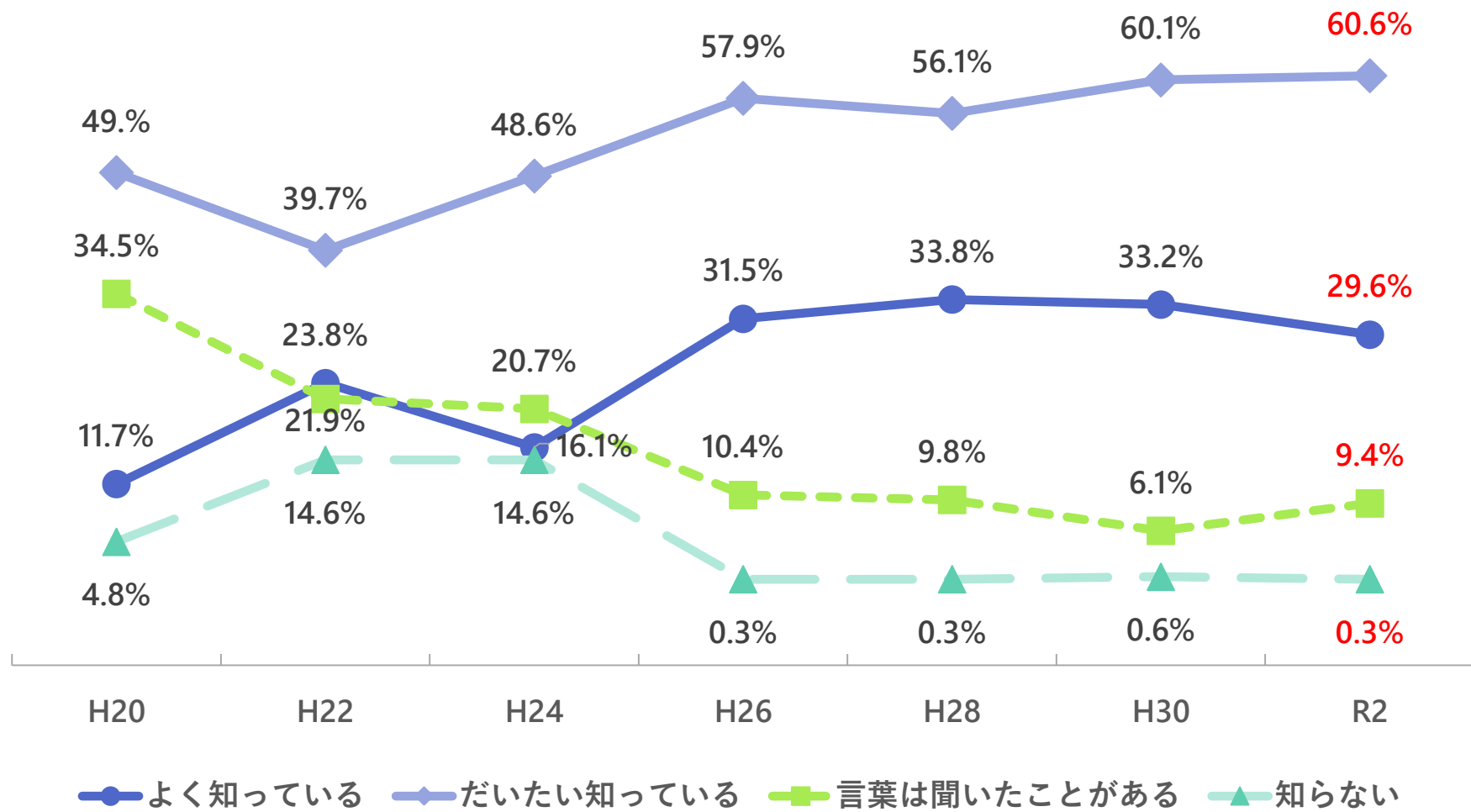
回答者の職業



問1.「ジェネリック医薬品」（後発医薬品）のことについてご存知ですか。（単一選択式）

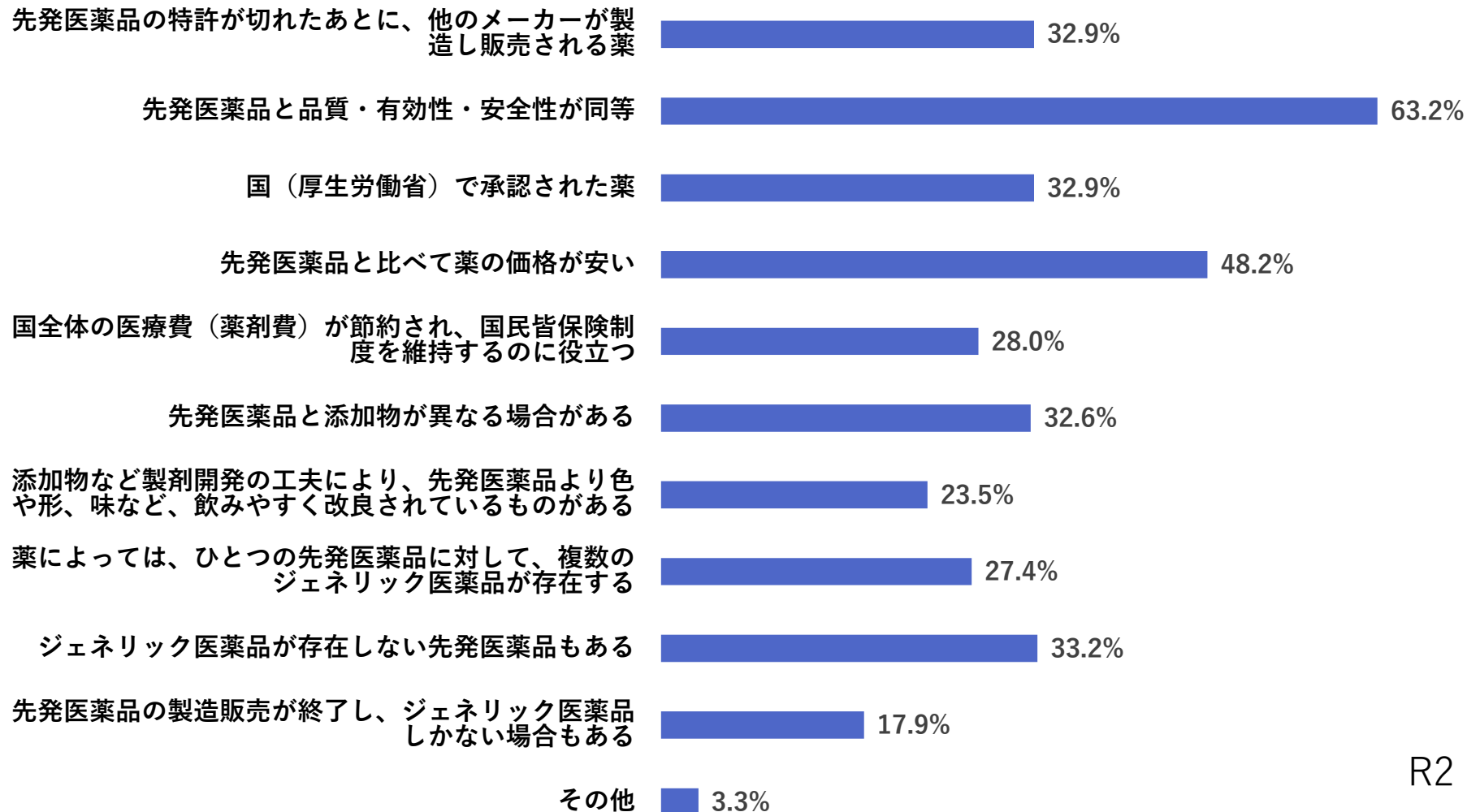
県民

- R2年度は「よく知っている」が29.6%でH30年度の33.2%より若干減少したが、「だいたい知っている」と合わせると、今回の調査でも90%を超えている。
- H20年度と比較すると、「よく知っている」と「だいたい知っている」の合計が29.5%増加した。



問2.「ジェネリック医薬品」について知っている内容は何ですか。（複数選択式）

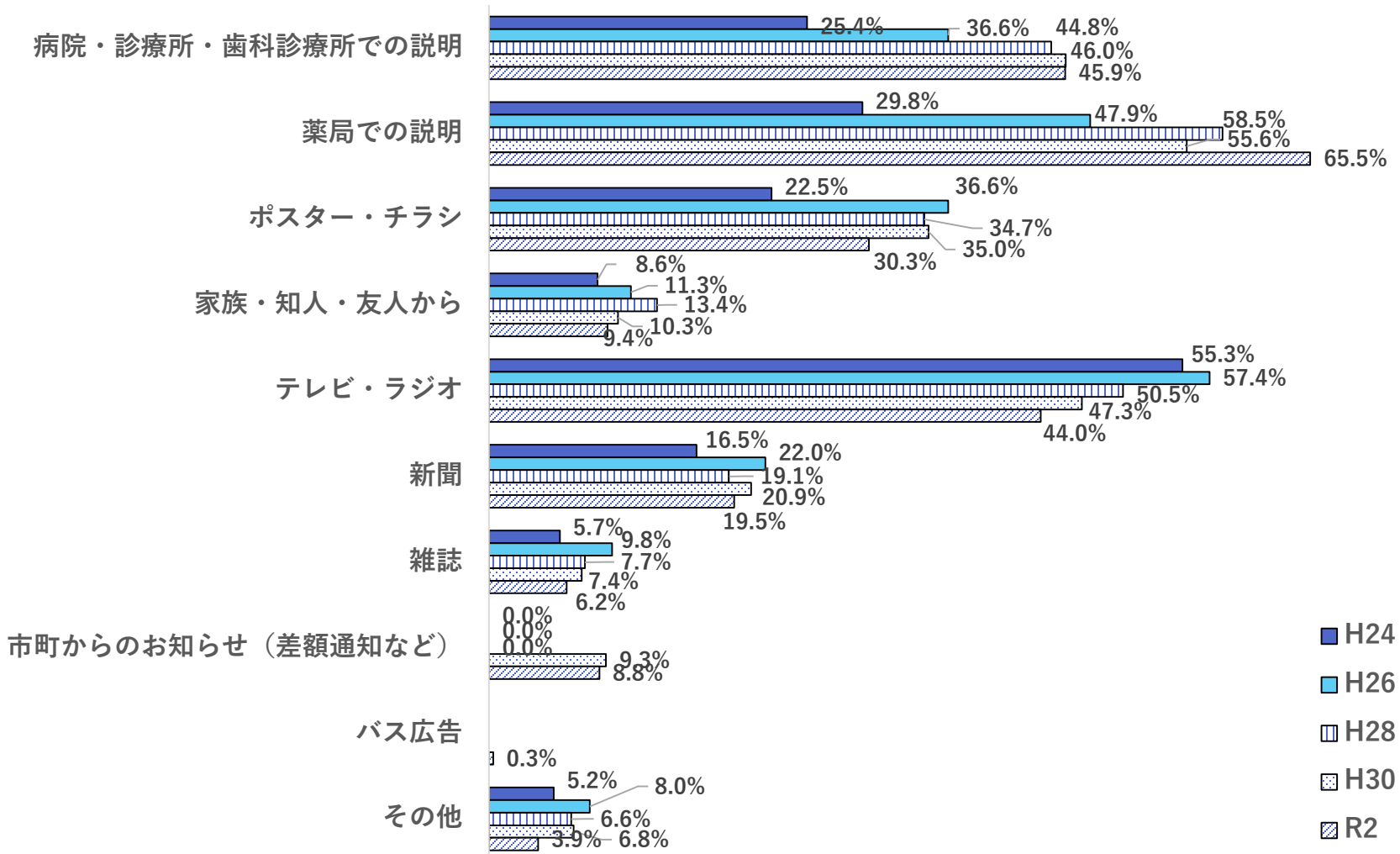
- 「先発医薬品と品質・有効性・安全性が同等」が63.2%と最も高かった。一方、「先発医薬品の製造販売が終了し、ジェネリック医薬品しかない場合もある」が17.9%と最も低かった。



問3.「ジェネリック医薬品」のことについて、どのようにしてお知りになりましたか。（複数選択式）

県民

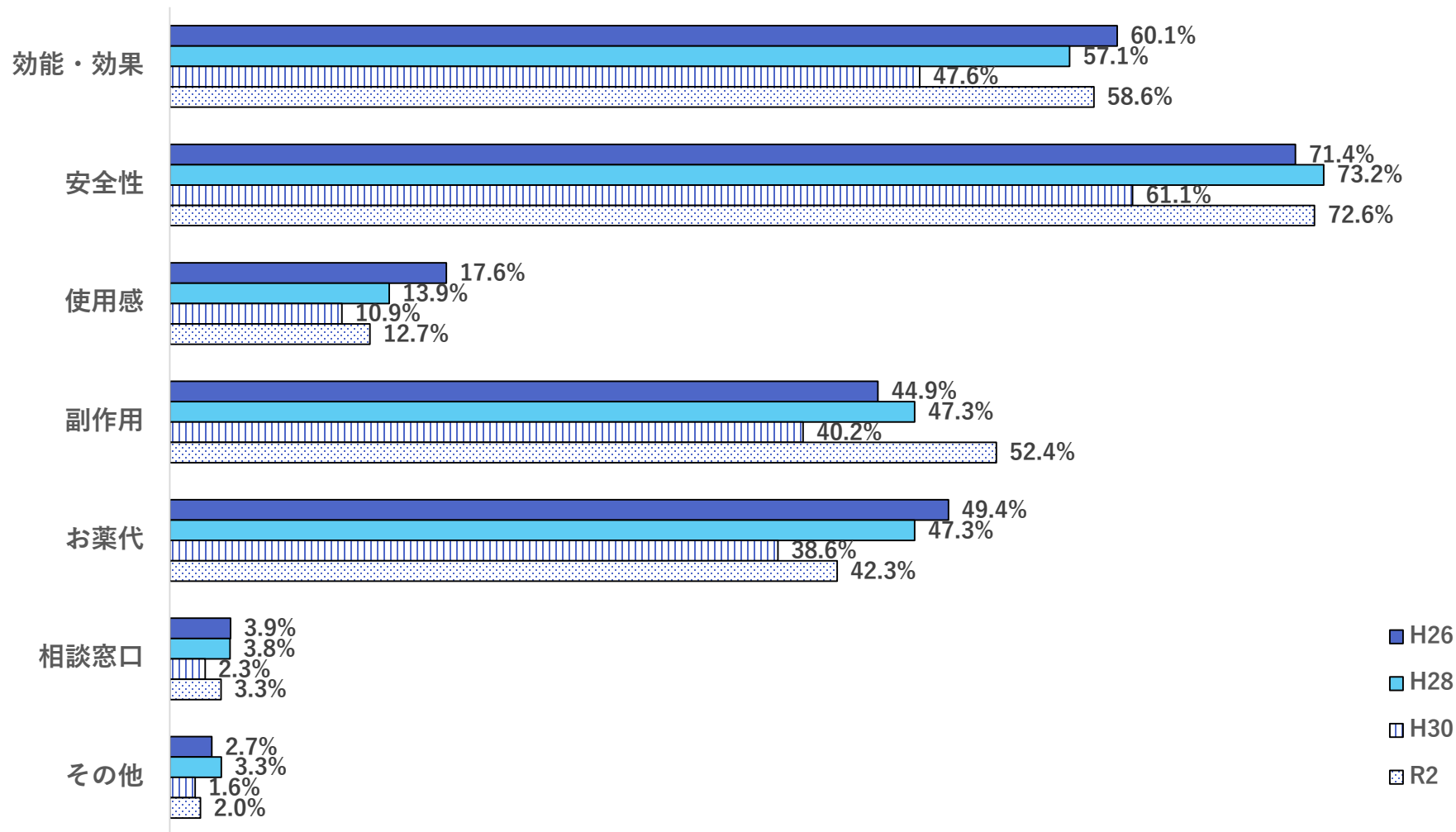
- R2年度は「薬局での説明」が65.5%と最も高く、続いて「病院・診療所・歯科診療所での説明」が45.9%、「テレビ・ラジオ」が44.0%であった。
- H24年度から「薬局での説明」が35.7%、「病院・診療所・歯科診療所での説明」が20.5%増加した。



問4.「ジェネリック医薬品」について、知りたいことは何ですか？（複数選択式）

県民

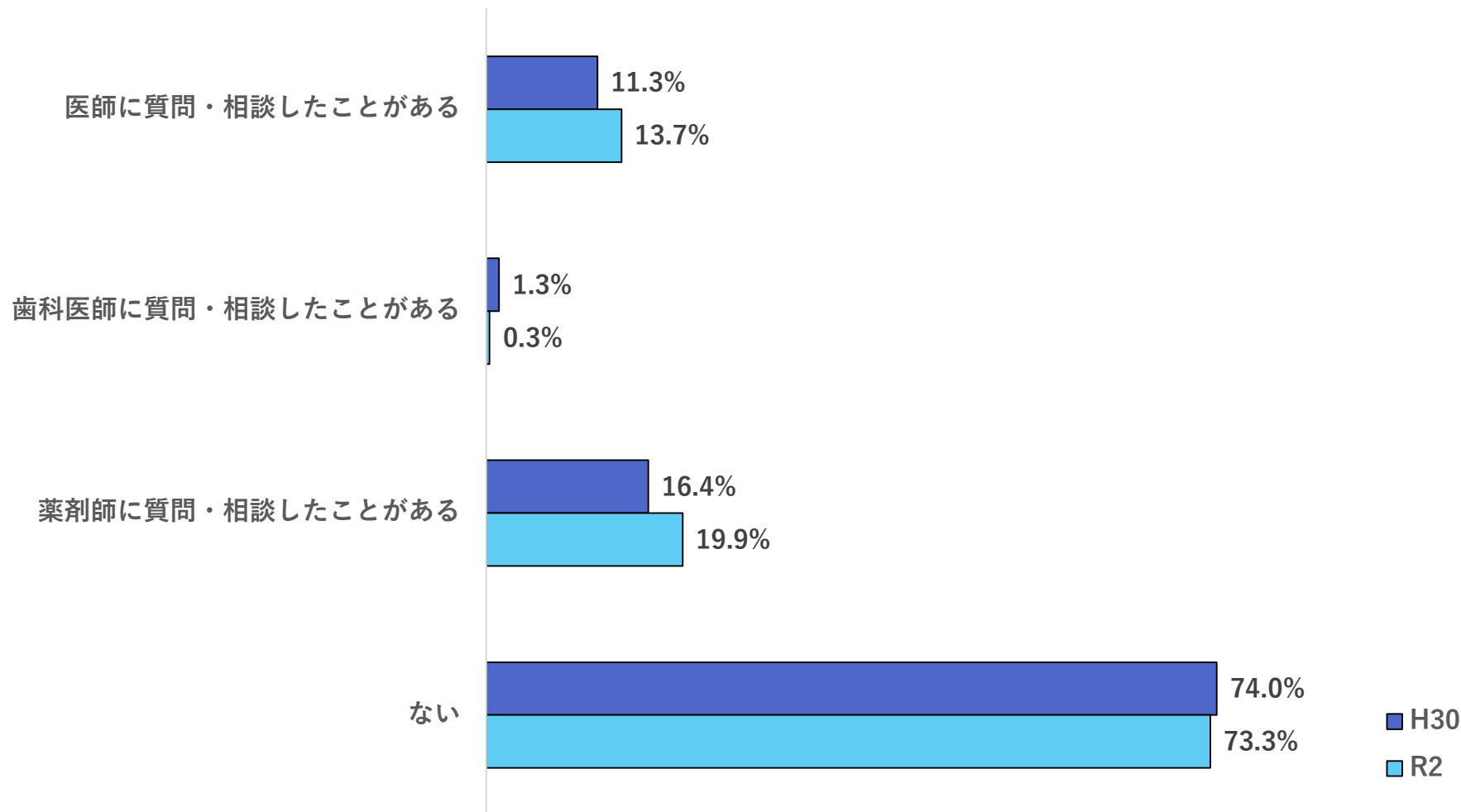
- R2年度は「安全性」が72.6%と最も高く、続いて「効能・効果」が58.6%、「副作用」が52.4%であった。
- H26年度から大きな変化はなかった。



問5.「ジェネリック医薬品」について、医療機関（病院・診療所・歯科診療所）や薬局で質問や相談をした経験はありますか。（複数選択・入力式）

県民

- R2年度は70%を超える人が医療機関や薬局で質問や相談をした経験がないと回答した。
- H30年度と比較して大きな変化は見られなかった。



問6.《問5で「質問・相談したことがある」と回答した方》その質問・相談内容について、
簡単にご記入ください。（記入式）

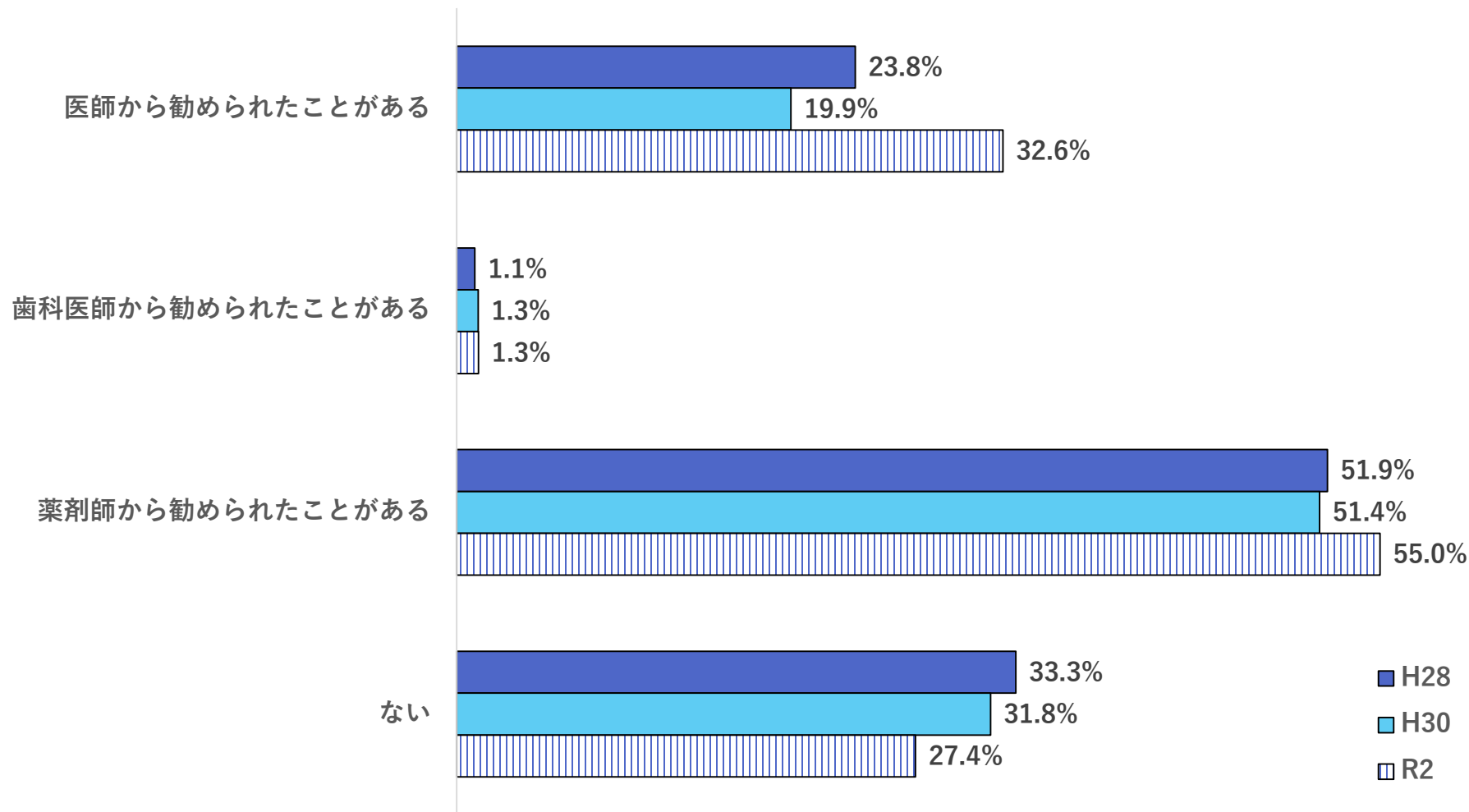
県民

- 質問・相談内容として、「効能・効果に関する質問・相談をした」が35件で最も多く、続いて「安全性に関する質問・相談をした」が14件、「副作用に関する質問・相談をした」が12件となった。
- 効能・効果に関する質問・相談をした 35件
（先発医薬品と効能・効果の差はないか、劣っていないか 等）
- 安全性に関する質問・相談をした 14件
（安全性に問題がないか 等）
- 副作用に関する質問・相談をした 12件
（副作用のリスクは高くないか 等）
- 支払額に関する質問・相談をした 11件
（お薬代の差額はどのくらいか、安くなるか 等）
- ジェネリック医薬品を希望した 8件
（医師・薬剤師にジェネリック医薬品を希望した 当）
- 添加物に関する質問・相談をした 3件
（取りたくない添加物が入っている 等）
- その他 12件
（先発医薬品を希望した、品質は問題ないか 等）

問7.「ジェネリック医薬品」について、医療機関（病院・診療所・歯科診療所）や薬局で勧められた経験はありますか。（複数選択式）

県民

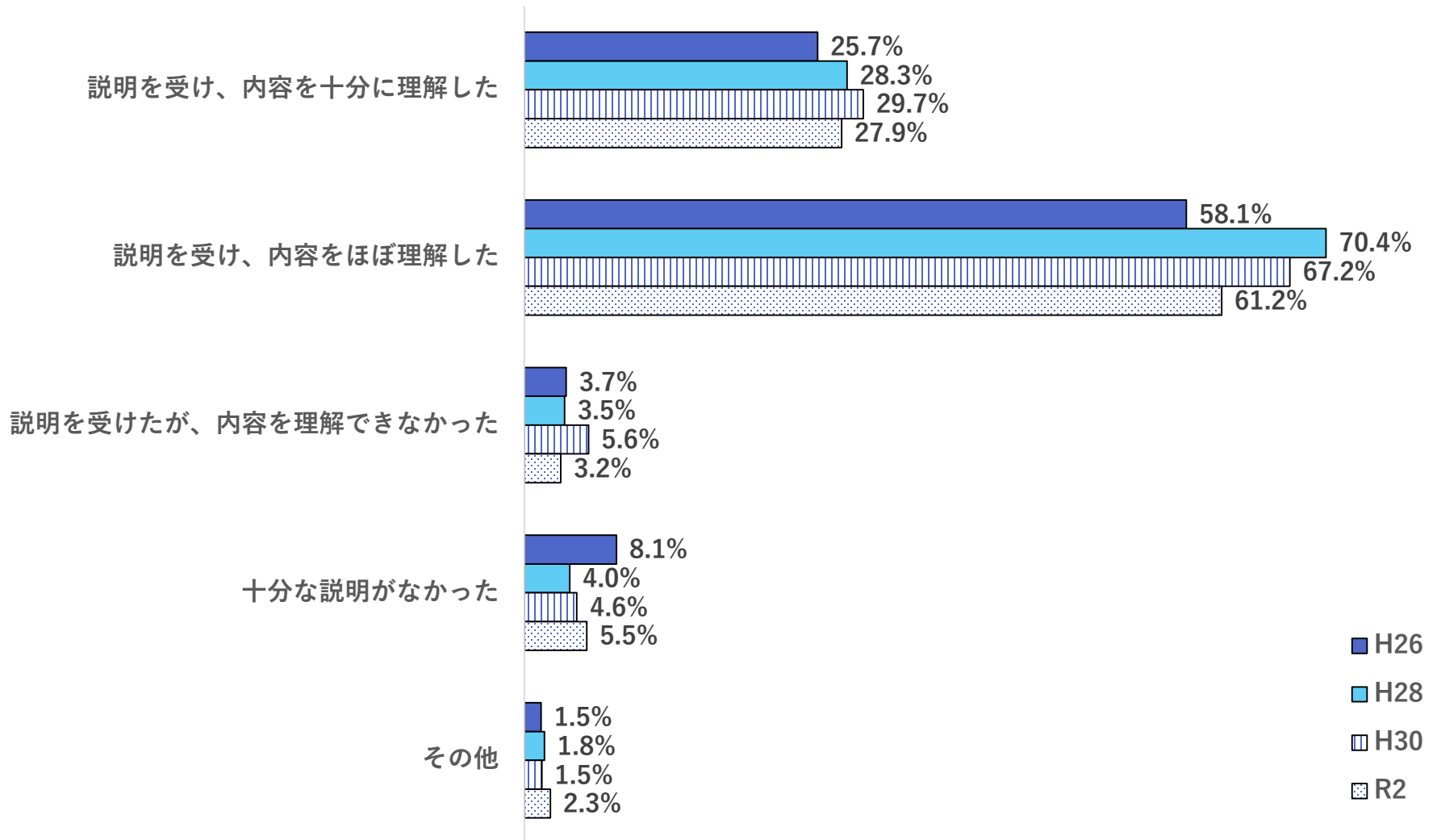
- R2年度は「薬剤師から勧められたことがある」が55%と最も高かった。
- 「ない」が依然として27.4%ある。
- H28年度から「医師から勧められたことがある」が8.8%増加した。



問8. 《問7で「勧められた経験がある」と回答した方》医療機関や薬局で勧められた際、「ジェネリック医薬品」についての十分理解できましたか。（単一選択式）

県民

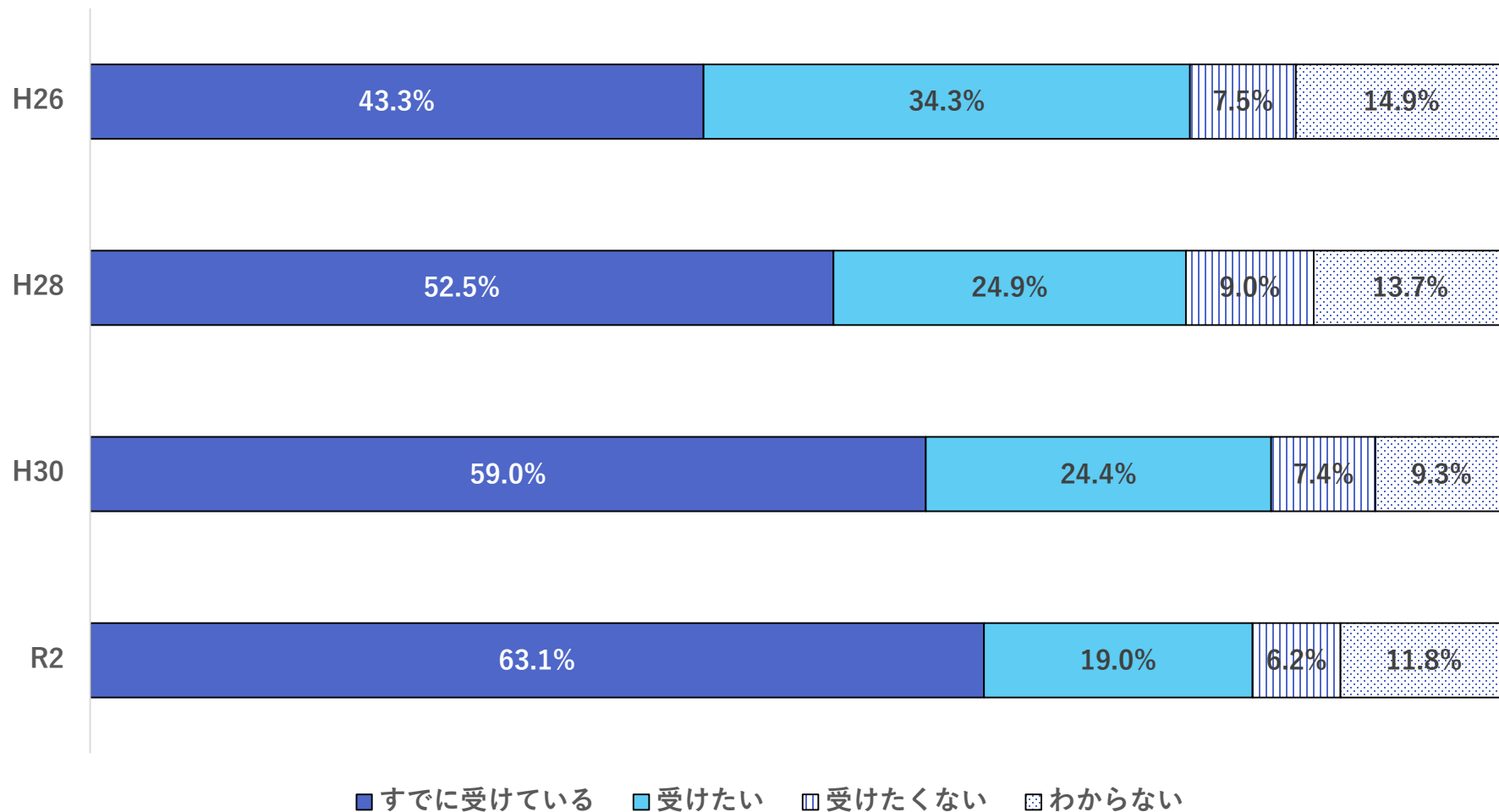
- R2年度は「説明を受け、内容を十分に理解した」と「説明を受け、内容をほぼ理解した」の合計89.1%であった。
- H26年度から大きな変化は見られなかった。



問9.医療機関や薬局で、「ジェネリック医薬品」の交付を受けたいと思われませんか。（単一選択式）

県民

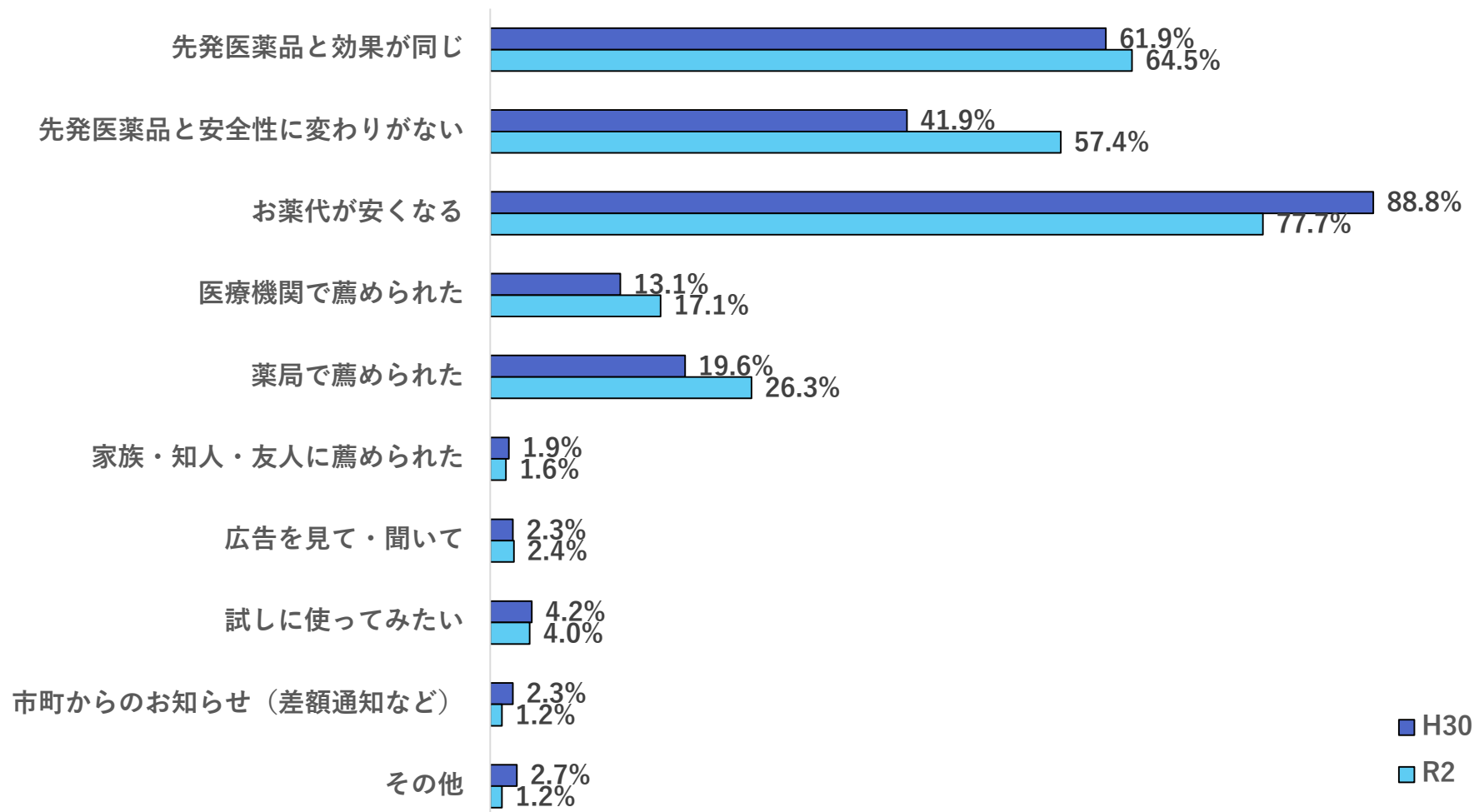
- R2年度は「すでに受けている」が63.1%であった。
- H26年度から「すでに受けている」が19.8%増加した。一方で、「すでに受けている」と「受けたい」の合計及び「受けたくない」は大きな変化はなかった。



問10. 《問9で「1. すでに受けている」「2. 受けない」と回答した方》「ジェネリック医薬品」の交付を受けた又は受けない理由は何ですか。（複数選択式）

県民

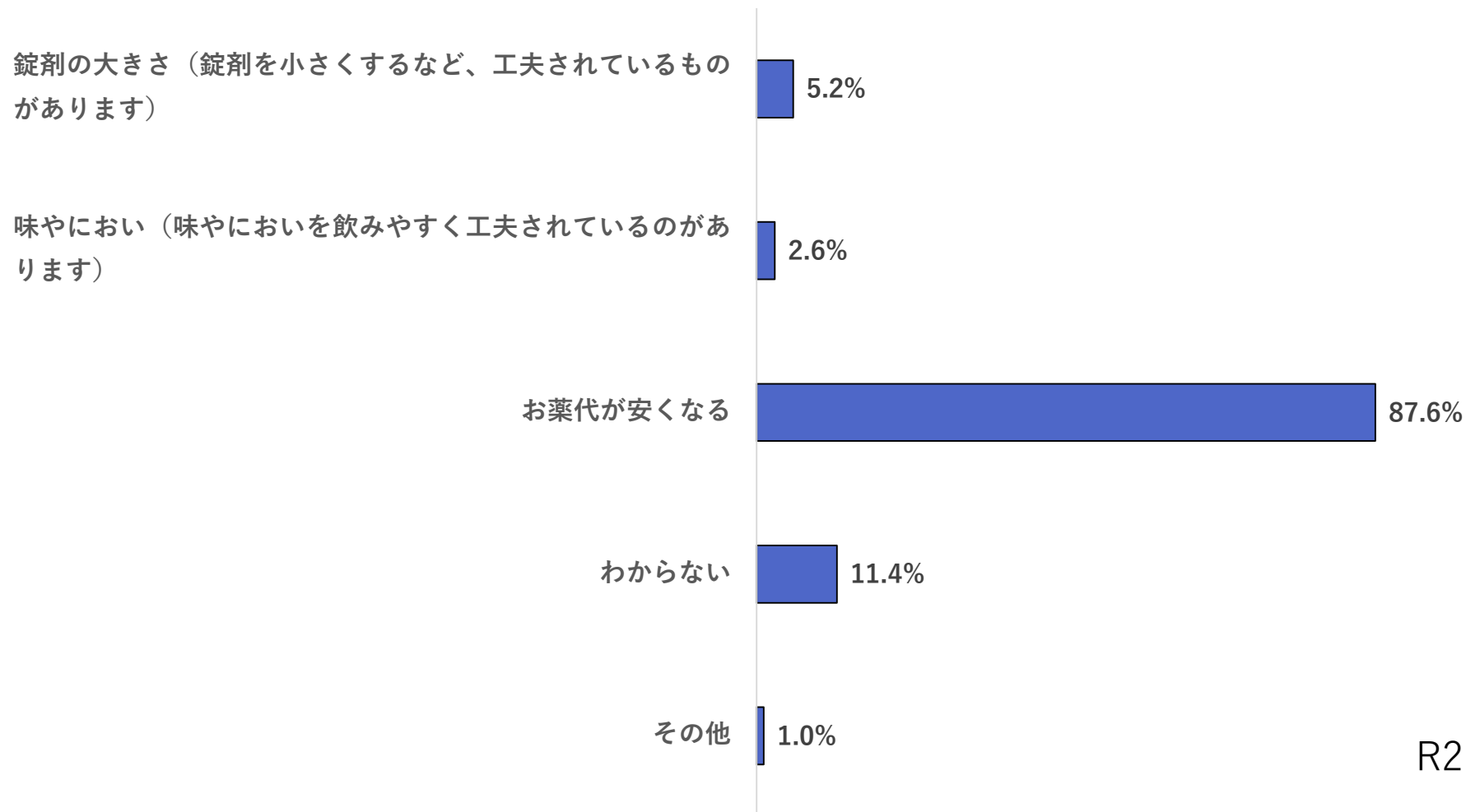
- R2年度は「お薬代が安くなる」が77.7%と最も高く、続いて「先発医薬品と効果が同じ」が64.5%、「先発医薬品と安全性に変わりがない」が57.4%であった。
- H30年度から「先発医薬品と安全性に変わりがない」が15.5%増加した。



問11. 《問9で「1. すでに受けている」と回答した方》「ジェネリック医薬品」を使って
みて良いと感じたことはありますか。（複数選択式）

県民

●「お薬代が安くなる」が87.6%と最も高かった。

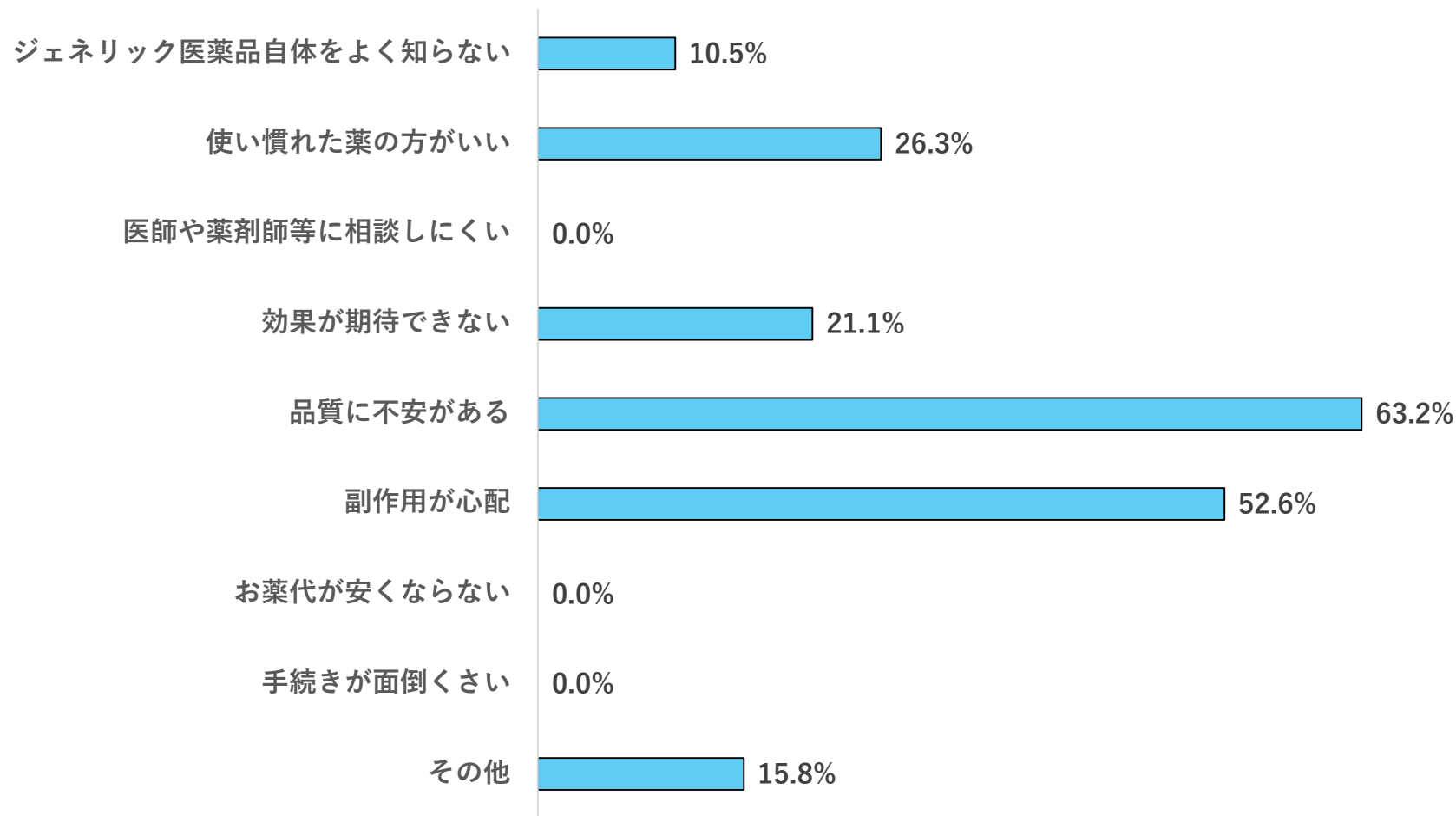


R2

問12. 《問9で「3. 受けたくない」と回答した方》「ジェネリック医薬品」の交付を受けたくない理由は何ですか。（複数選択式）

県民

●「品質に不安がある」が63.2%と最も高く、続いて「副作用が心配」が52.6%であった。



問13. 《問12で「2. 使い慣れた薬の方がいい」と回答した方》その具体的な理由を教えてください。（記入式）

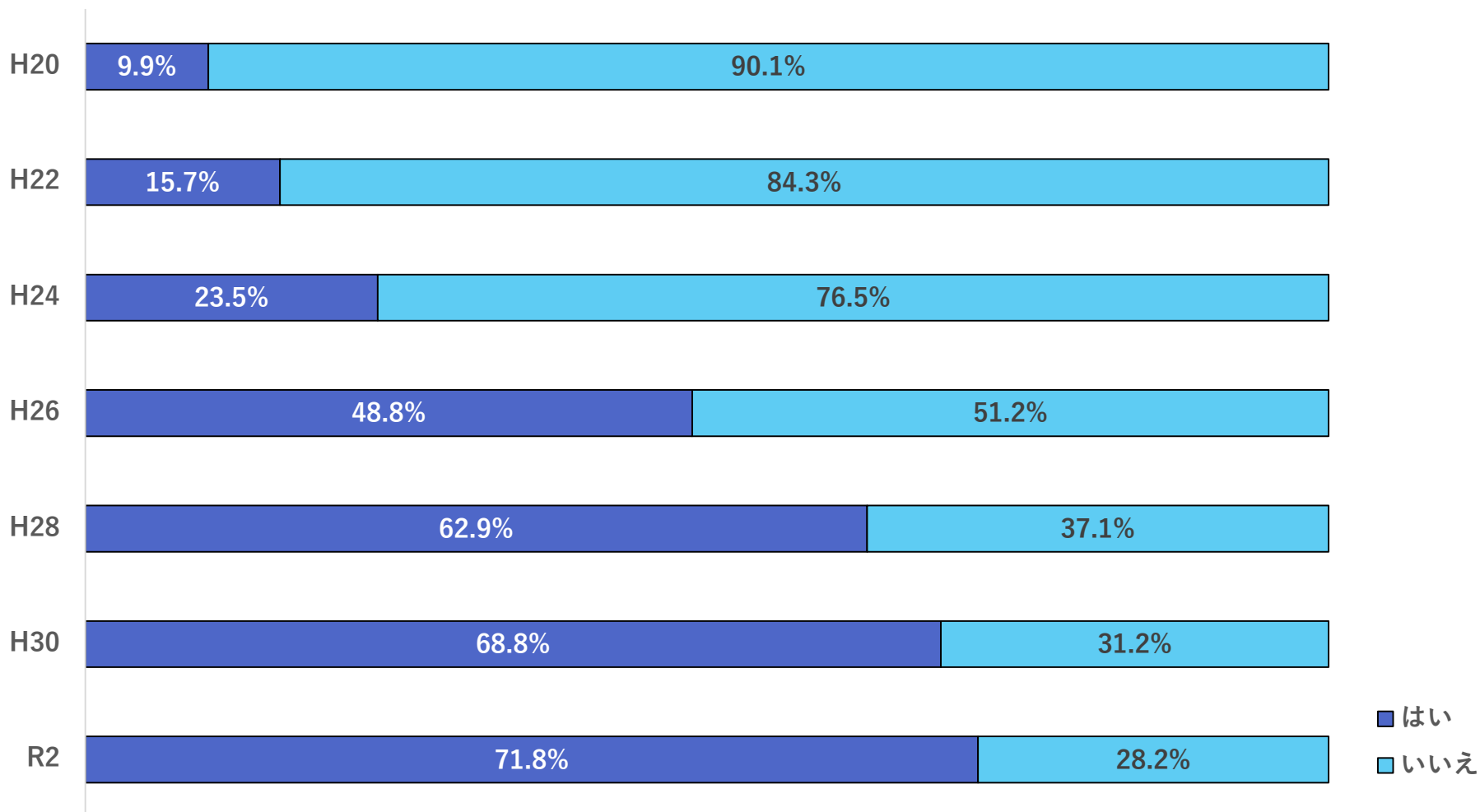
県民

- "人生の半数以上をお薬に頼っている。なので、主治医のさじ加減に、最も近いお薬を使いたいから。"
- "持病などで長年、服用しているものを、ジェネリックに変えるには少し、怖いのと、効果の面で心配も残る。"
- ジェネリックを飲んで、頭痛と吐き気に襲われたので。
- 高齢の母は色が変わったことで『違う薬』と思ったようで、馴染めず元の薬に戻してもらった事がある
- "段階を踏んで変更できる仕組みがあればいいと思う。2週間処方であれば先発後発半々など・・・。"

問14.医療機関や薬局で、実際に「ジェネリック医薬品」へ変更したことはありますか。（単一選択式）

県民

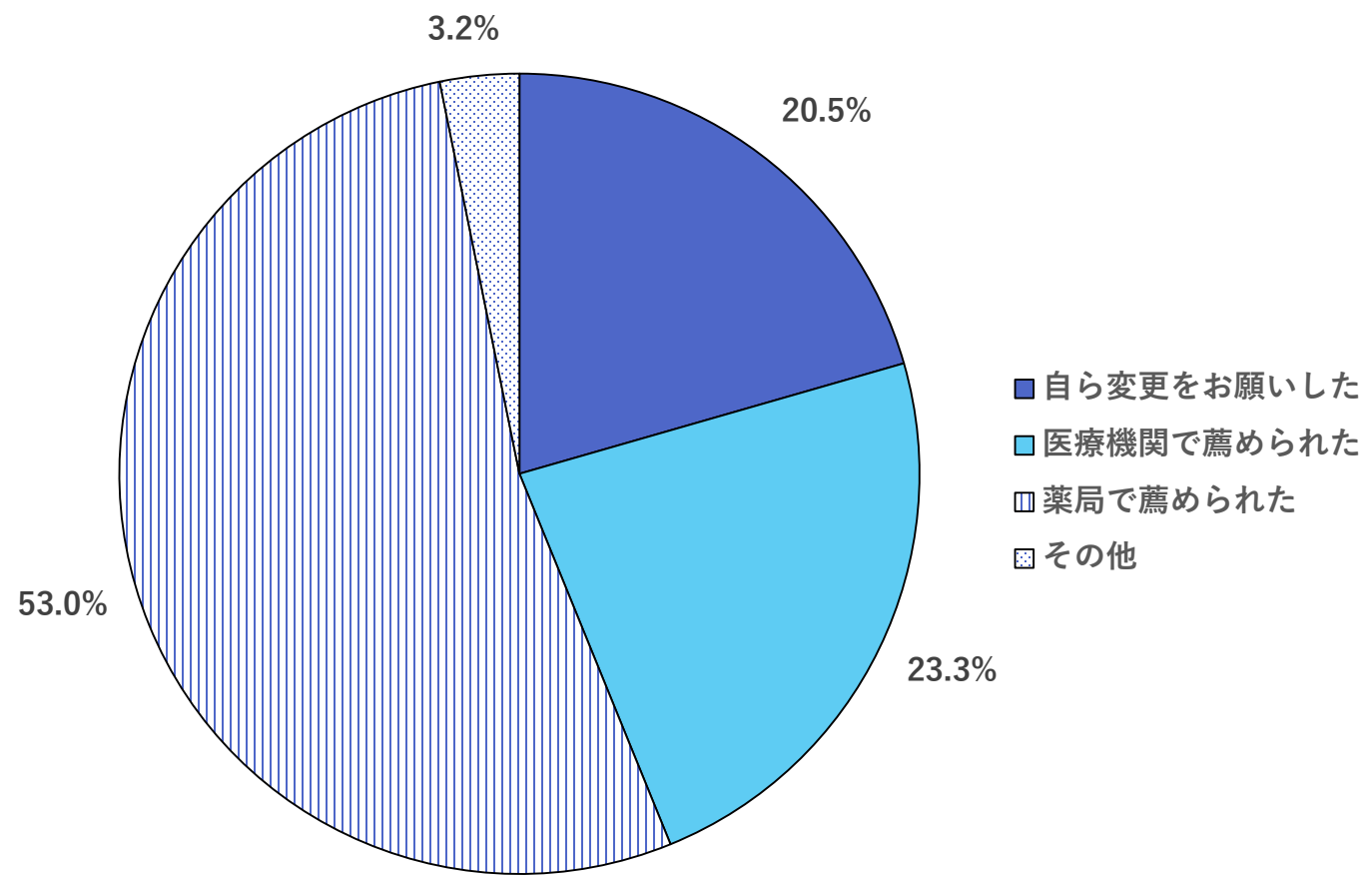
- R2年度は「はい」が71.8%であった。
- H20年度から「はい」が61.9%増加した。



問15. 《問14で「1. はい」と回答した方》どのようにして「ジェネリック医薬品」へ変更されましたか。主なものを一つ選んでください。（単一選択式）

県民

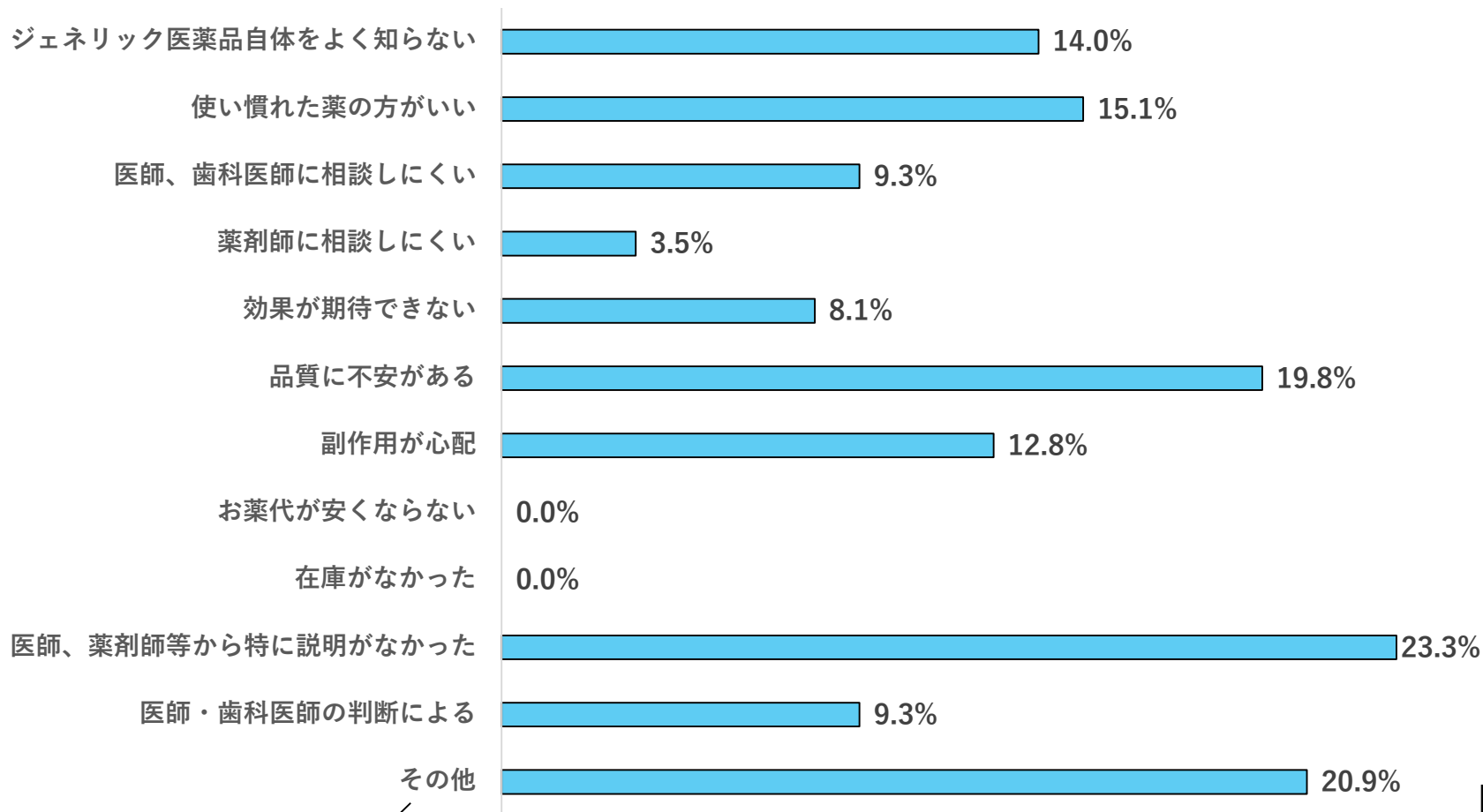
●「薬局で薦められた」が53.0%で最も高く、続いて「医療機関で薦められた」が23.3%であった。



問16. 《問14で「2. いいえ」と回答した方》「ジェネリック医薬品」へ変更しなかった理由は何ですか。（複数選択式）

県民

- 「医師、薬剤師等から特に説明がなかった」が23.3%で最も高く、続いて「その他」が20.9%、「品質に不安がある」が19.8%であった。

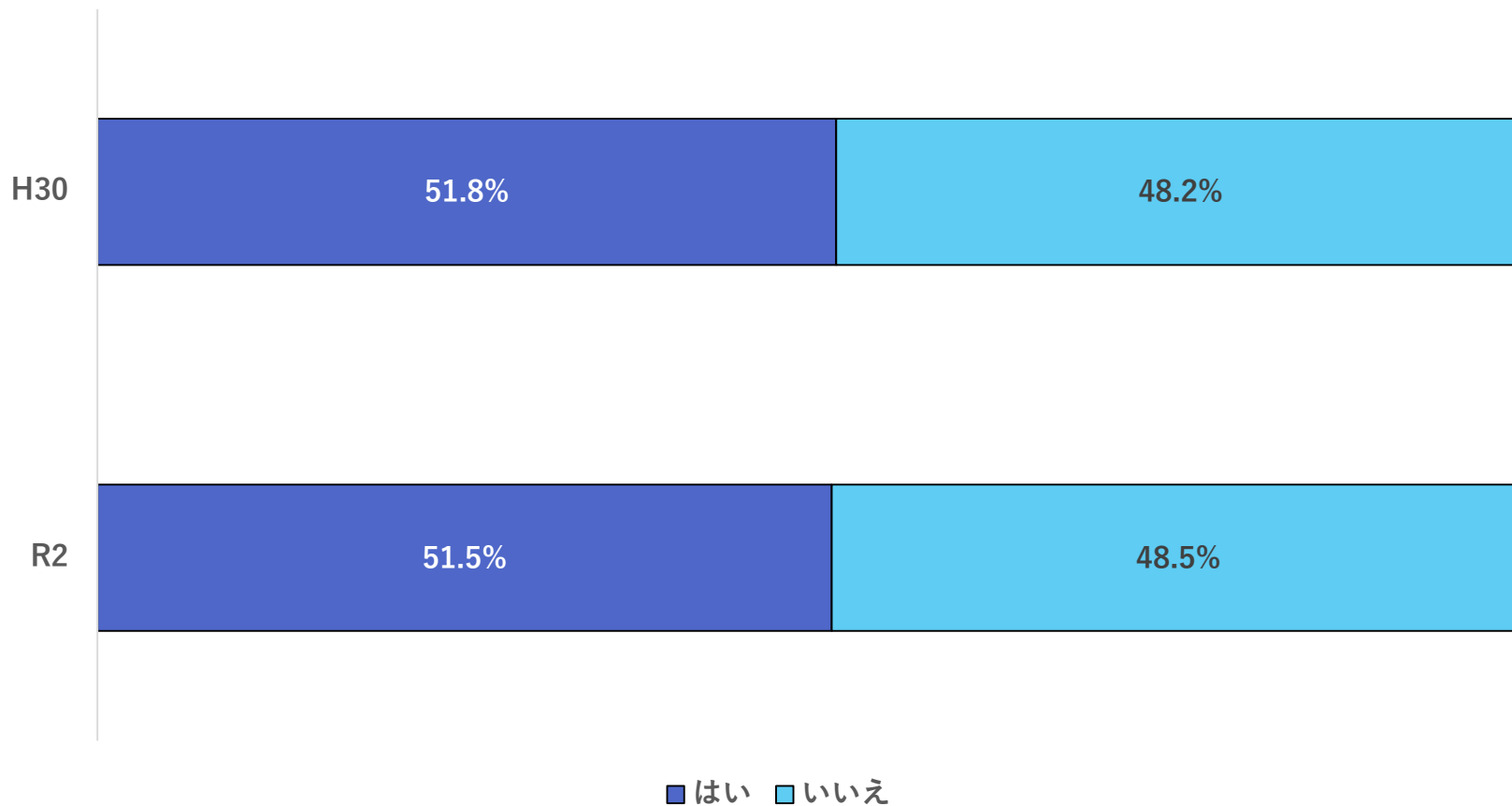


薬を飲んでいない（3件）、始めからジェネリック医薬品を服用している（3件）、医師の指示により（3件）、飲んでる薬がジェネリック医薬品かわからない（2件）、その他（7件）

問17.医療機関や薬局の窓口で提示することができる「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」のことをご存知ですか。（単一選択式）

県民

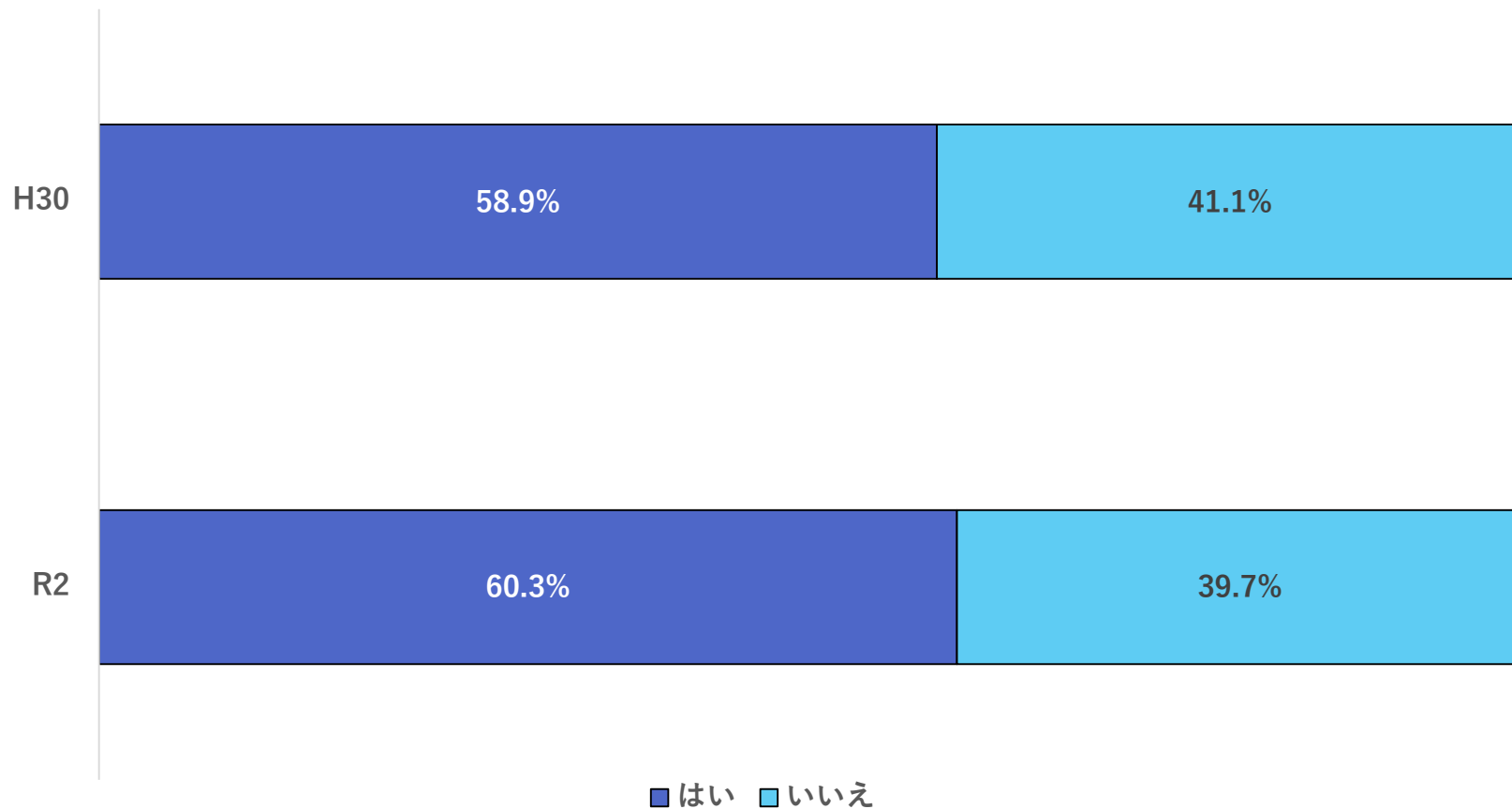
- R2年度は「はい」が51.5%であった。
- H30年度と比較して大きな変化はなかった。



問18. 《問17で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」をお持ちですか。（単一選択式）

県民

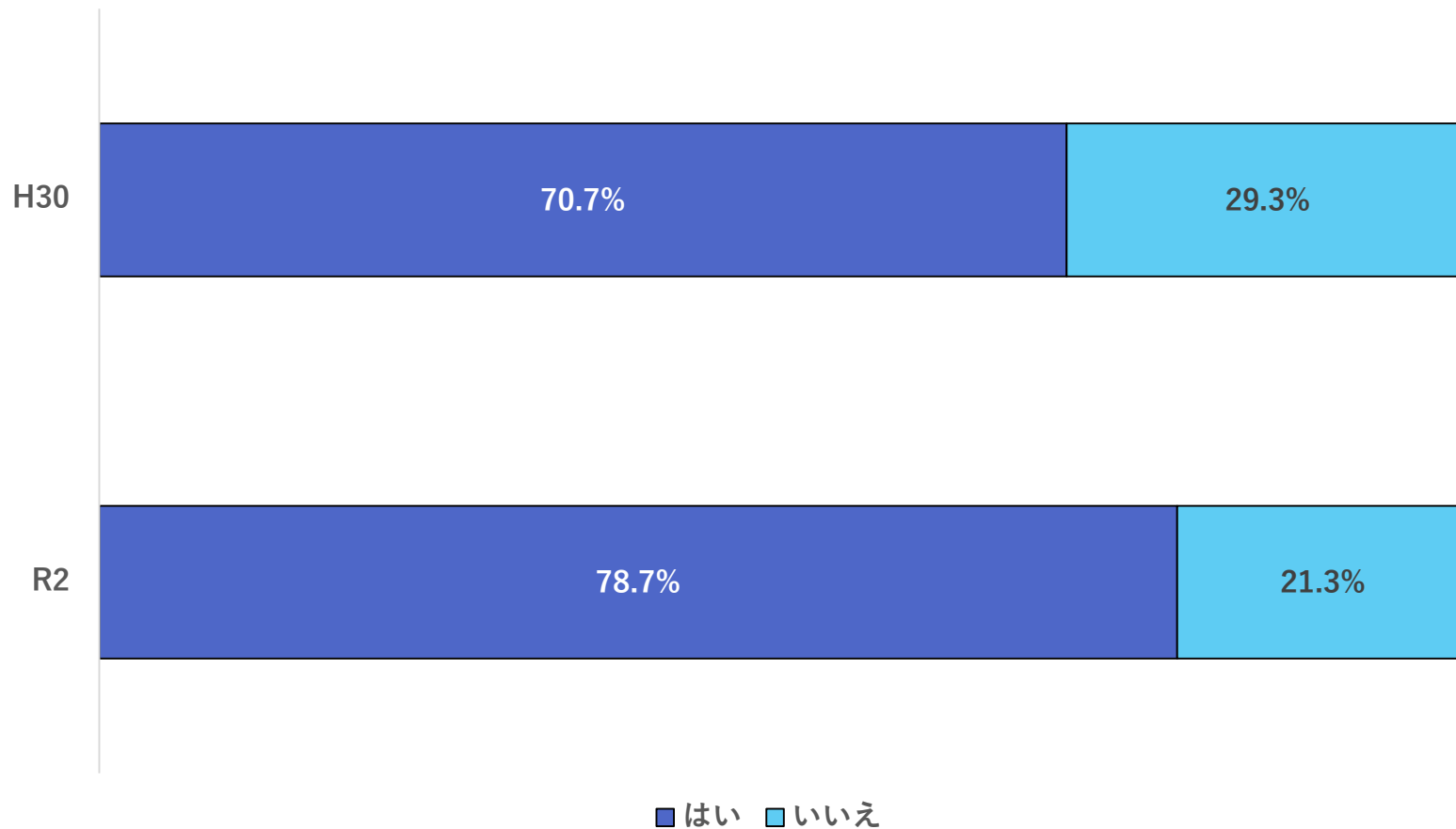
- R2年度は「はい」が60.3%であった。
- H30年度と比較して大きな変化はなかった。



問19. 《問18で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」を使用した経験はありますか。（単一選択式）

県民

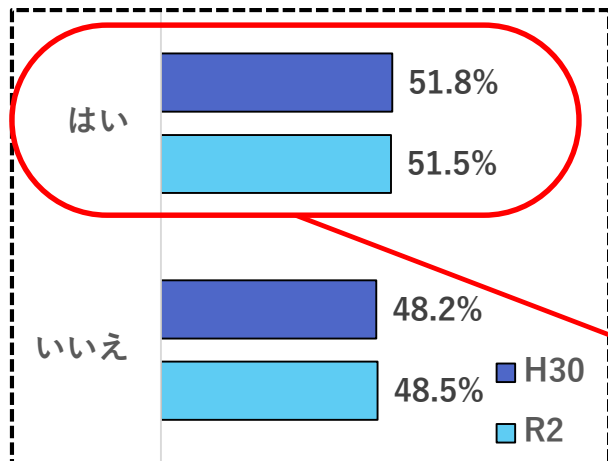
- R2年度は「はい」が78.7%であった。
- H30年度と比較して大きな変化はなかった。



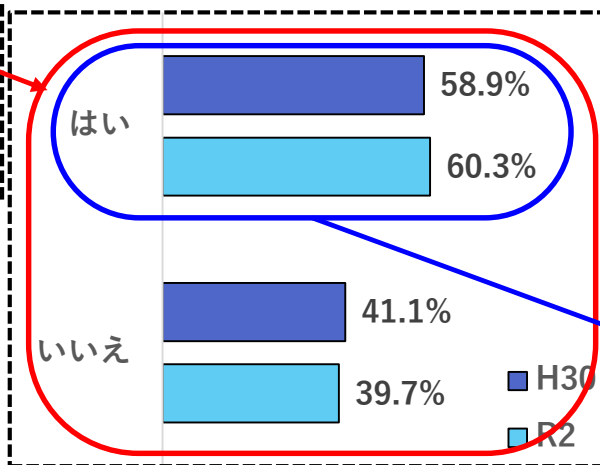
問17.医療機関や薬局の窓口で提示することができる「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」のことをご存知ですか。（単一選択式）

県民

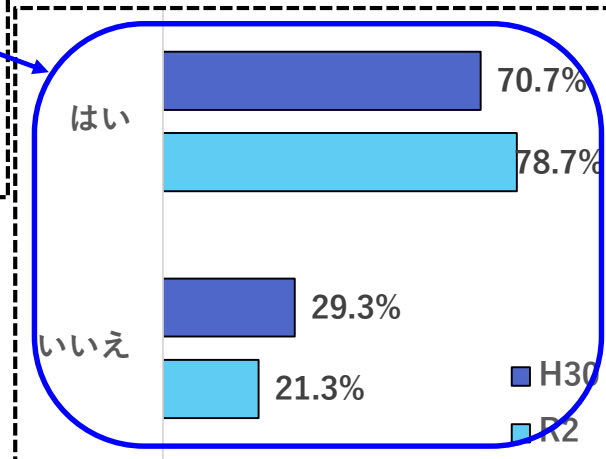
- R2年度は「ジェネリック医薬品希望カード・シール」を知っている人は51.5%、そのうち60.3%がカード・シールを所持しており、うち78.7%が使用経験があった。
- H30年度と比較して大きな変化は見られなかった。



問18.《問17で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」をお持ちですか。（単一選択式）



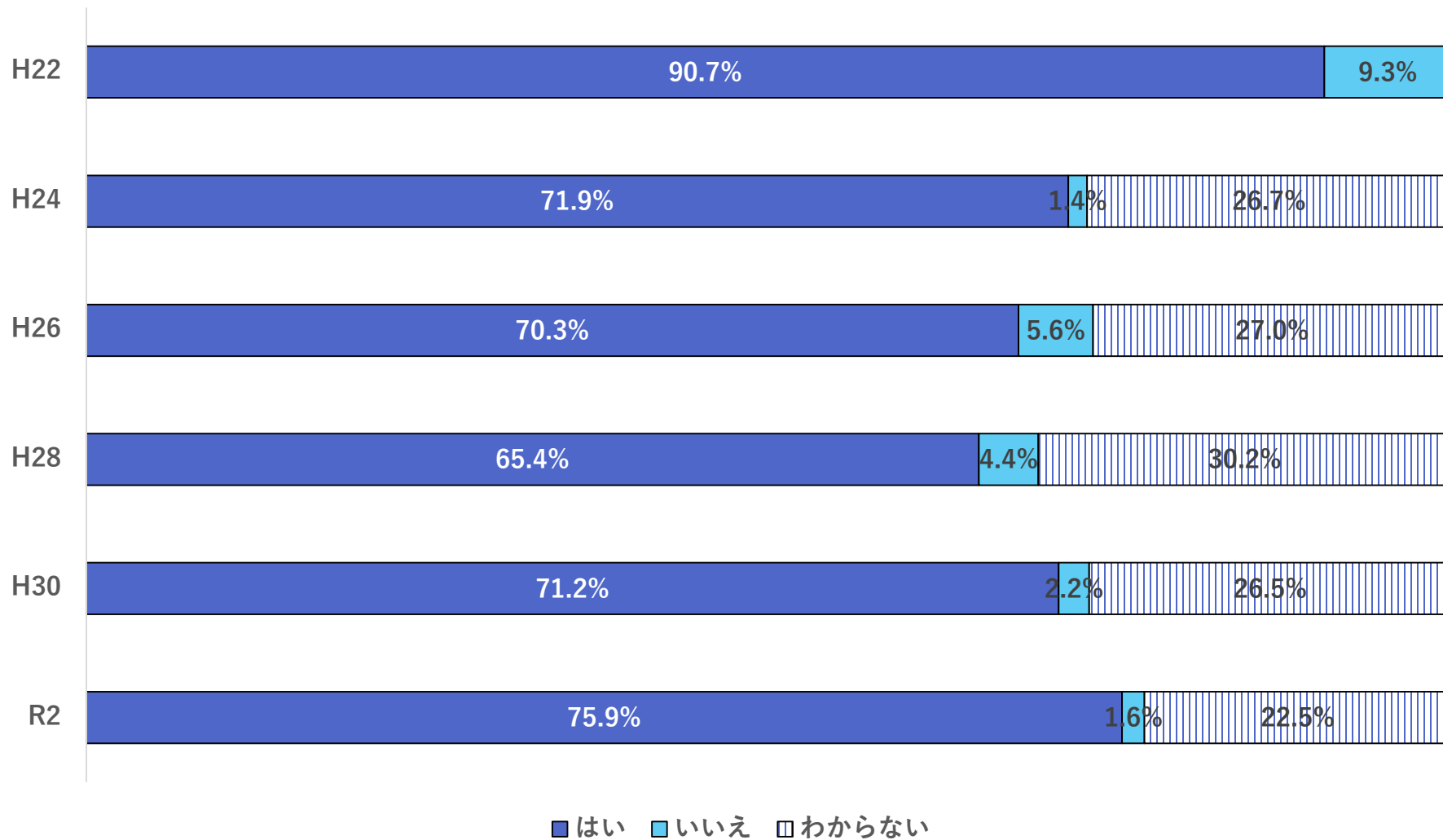
問19.《問18で「1. はい」と回答した方》「ジェネリック医薬品希望カード」もしくは「ジェネリック医薬品希望シール」を使用した経験はありますか。（単一選択式）



問20.将来にわたって安心して医療を受けられることが出来るように（医療保険財政の改善）、
「ジェネリック医薬品」を使用促進することは必要だと思いますか。（単一選択式）

県民

- R2年度は「はい」が75.9%であった。
- H24年度から大きな変化は見られなかった。



問21. ジェネリック医薬品の利用に関して、行政（厚生労働省、長崎県福祉保健部薬務行政室）の施策に対し要望することがあれば、該当するものを2つ以内で選んでください。（2つ選択）

県民

- R2年度は「患者へのジェネリック医薬品に関する情報の提供」が53.1%で最も高く、続いて「薬局でジェネリック医薬品を確実に選択できる体制づくり」が36.2%、「品質の高いジェネリック医薬品とするためのメーカーへの指導」が34.2%であった。
- H30年度と比較して大きな変化は見られなかった。

ジェネリック医薬品が市場に流通するまでの審査の仕組みについての周知



医療関係者へのジェネリック医薬品に関する情報の提供（研修会の開催など）



患者へのジェネリック医薬品に関する情報の提供



品質の高いジェネリック医薬品とするためのメーカーへの指導



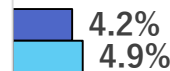
ジェネリック医薬品を安定的に市場へ供給できる体制づくり



薬局でジェネリック医薬品を確実に選択できる体制づくり



その他



特になし



■ H30
■ R2

問22. 「バイオシミラー」（バイオ後続品）のことについてご存知ですか。（単一選択式）

県民

- R2年度は「知らない」が84.0%で最も高く、「よく知っている」が1.6%、「だいたい知っている」は3.6%にとどまった。
- H28年度から大きな変化は見られなかった。

